



令和7年度

自動運転・ AIオンデマンド交通 における進捗報告



1 自動運転バス

2 AIオンデマンド交通



01 実証実験概要

01-01 実証車両

昨年度と同様、いすゞエルガの自動運転車両を使用



項目	内容	
車両スペック	車両名	いすゞ エルガ
	自動運転レベル	レベル2
	乗車定員	20人（スタッフ除く）
	大きさ	前長10,430 車幅2,485 高さ3,045
	最高速度	自動運転時50km/h
	センシングデバイス	LiDAR(8)/カメラ(19)
走行可能環境	その他設備	GNSS(2)/IMU(1)/GMPS
	天候	晴れ、曇り、雨15mm以下
	照度	1~10,000lux
その他特徴等	<ul style="list-style-type: none"> ・自己位置推定には高精度3次元地図を活用 ・交差点右左折(信号有):可能(矢印信号対応済) ・交差点右左折(信号無):可能 ・車線変更:可能 ・障害物/駐車車両の回避:検証中 ・突発的な急停車:可能(飛び出し検知有) 	

01 実証実験概要

01-02 走行ルート及び停留所

昨年度から一部のルート変更に伴い停留所を設定

The central map shows a blue route starting from '本社ターミナル' (Main Terminal) in the south, heading north through '向陽台入口' (Koyodai Entrance), '真々地' (Mamamachi), '仲の橋通' (Nakanobashi), and ending at '千歳駅前' (Chitose Station) and '市役所前' (City Hall). The map also shows landmarks like '青葉公園' (Aoba Park) and '航空自衛隊千歳基地' (Chitose Air Base).

Surrounding photos show the bus at various stops: '真々地' (Mamamachi), '向陽台入口' (Koyodai Entrance), '本社ターミナル' (Main Terminal), '千歳駅前' (Chitose Station), '仲の橋通' (Nakanobashi), and '市役所前' (City Hall). Blue arrows indicate the sequence of stops from top to bottom.

※ 停留所は、実証走行時間を確保できる数とし、かつ自動走行に課題があるバスベイを設置している箇所を選定

01 実証実験概要

01-03 運行ダイヤ

昨年度と同様、通勤通学を避けた時間帯に設定

走行方法： 定時定路線, 計4便設定

往路（千歳駅→本社ターミナル）						
便数	千歳駅前	仲の橋通	市役所前	真々地	向陽台入口	本社ターミナル
1	10:00	10:03	10:06	10:15	10:23	10:28
2	11:10	11:13	11:16	11:25	11:33	11:38
3	14:00	14:03	14:06	14:15	14:23	14:28
4	15:10	15:14	15:16	15:25	15:33	15:38
夜間 ※	16:40	16:43	16:46	16:55	17:02	17:07

復路（本社ターミナル→千歳駅）						
便数	本社ターミナル	向陽台入口	真々地	市役所前	仲の橋通	千歳駅前
1	10:40	10:45	10:52	11:02	11:05	11:08
2	11:50	11:55	12:02	12:12	12:15	12:18
3	14:40	14:45	14:52	15:02	15:05	15:08
4	15:50	15:55	16:02	16:12	16:15	16:18
夜間 ※	17:20	17:25	17:32	17:42	17:45	17:48

※運行日 11/4、11/7、11/9、11/11、11/14、11/15

※夜間走行検証時間は、日没時間を考慮し設定

02 実証スケジュール



項目	10月	11月	12月	1月
チューニング走行	10/15~11/1 ➡	11/24~12/13 ➡		
一般試乗会		11/3~11/22,29,12/6 ➡		
閉鎖空間実証 (芦別市)			12/15~23 ➡	
冬期実証 ※一般試乗なし				1/5~1/24 ➡ ➡
イベント		No.1 No.2 ★ ★		No.3 ★
路車協調システム実証		➡	➡ ➡	➡ ➡

04 社会受容性醸成の取組み

02 実証スケジュールにて記載したイベント概要は次のとおり。
また、今年度も試乗車アンケートを実施し、社会実装に向けた地域住民の心情を把握する。

No.1 11/3 市内小学生向け乗車 イベント（仮）

(1)目的

市内小学生への自動運転バス、公共交通の理解促進を図る。

(2)実施概要案

- ・自動運転バス試乗
 - ・バス車内外装の説明
 - ・親御さん向けアンケート、ヒアリング
 - ・ノベルティ参加者プレゼント
- ※千歳科技大小林研究室と連携実施

No.2 11/6～7 ビジネスEXPO北海道

(1)目的

主催者のノーステック財団と連携し、本市の取組みを幅広く関係企業や就活生に向け認知・理解を図る。

(2)展示概要案

- ・紹介パネル
- ・遠隔監視モニター
- ・R6実証動画 など

No.3 1月上旬 関係者試乗会

(1)目的

本市ステークホルダーに向け、事業の進捗報告及び理解促進を図る。

(2)対象者

- ・市議会議員（総文委員）
- ・協議会委員
- ・関係行政機関
- ・報道機関 など

(3)備考

天候や路面状況によって走行不可となるため、後日正式案内

1 自動運転バス

2 AIオンデマンド交通



01 実証実験概要

01-01 運行区域

向陽台地区(市街地エリア以外に、工業団地エリアに拡大)
 ※拡大エリアにおける乗降所の設定は、基本エリア内の公園に設定し、工業団地の企業については、協賛企業のみ設定する。
 ※右図のとおり

01-02 運行期間

令和7年11月1日～令和8年1月31日(予定)
 ※12月27日(土)～1月4日(日)は運休

01-03 運行時間

9:00～17:00

01-04 運行方式

自由経路ミーティングポイント型
 事前に利用予約をすることで、運行区域に設定された乗降所(ミーティングポイント)間を移動することができる。

01-05 車両

10人乗りの乗用車(ハイエース等)
 ※運行事業者決定後調整

【運行区域】

— 昨年度実施区域
 — 拡大区域



01 実証実験概要②

01-05 運賃

昨年度は無償での実証運行を行ったが、今年度については、今後の本格導入を見据え、有償での実証運行を行う。
※詳細は右図のとおり

【運賃表(案)】

No	対象者区分	運賃	
1	大人運賃	300円	
2	小児運賃	6歳以上(小学生)	200円
3	未就学児	6歳未満	無料
4	高齢者割引	75歳以上	200円
5	学生割引	中学生・高校生・大学生	200円
6	身体障がい者等割引	身体障がい者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所持している方	200円
7	無料クーポン	個人サポーター特典	無料

01-06 協賛金

持続的な公共交通を目指すため、実験的に地域の企業に協賛を募り、協賛企業には乗降所の設置や車内広告などの特典を設けることとする。
※詳細は右図のとおり



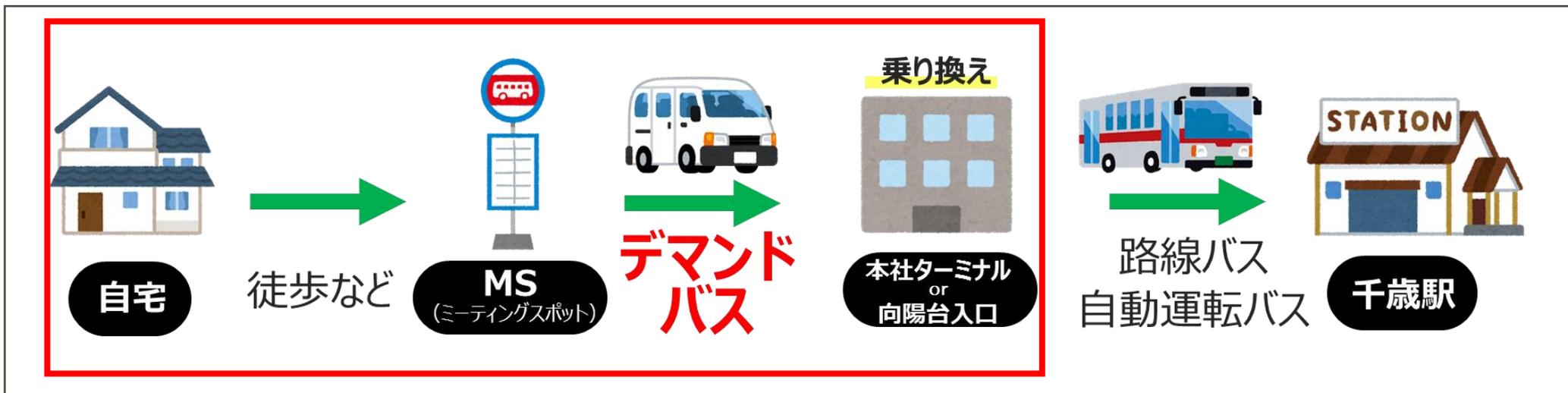
【協賛金プラン表(案)】

分野	内容	プラン1	プラン2	プラン3	個人サポーター
車両広告	車内広告の掲載	●			
	チラシの車内配布	●			
	車外広告	●			
その他広告	パンフレットへの会社ロゴの掲載	●	●	●	
	アプリ内への協賛企業掲載	●	●	●	
	停留所看板への会社ロゴの掲載	●	●		
停留所	停留所の設置	●	●		
割引	無料クーポン券の付与				●
特典	オリジナルグッズの提供	●	●	●	●
金額	月額金額	20,000円	10,000円	5,000円	3,000円

01 実証実験概要②

01-07 事業全体のイメージ

バス事業者における運転手不足の解消策として、現状、住宅街を回っている区間を将来的に幹線のための路線とし、幹線に接続する移動手段として「AIオンデマンド交通」の導入の検証を進めている。
 ※幹線については、将来的に自動運転バスを導入し、運転手不足を解消することを目指している。
 ※AIオンデマンド交通については下図の赤枠部



02 実施体制

01 事業主体

千歳市(企画部交通政策課)

02 システム事業者

株式会社建設技術研究所(予定)
→昨年度より、引き続きシステムの設計・構築・運用
及び事業全体のマネジメントを担当する

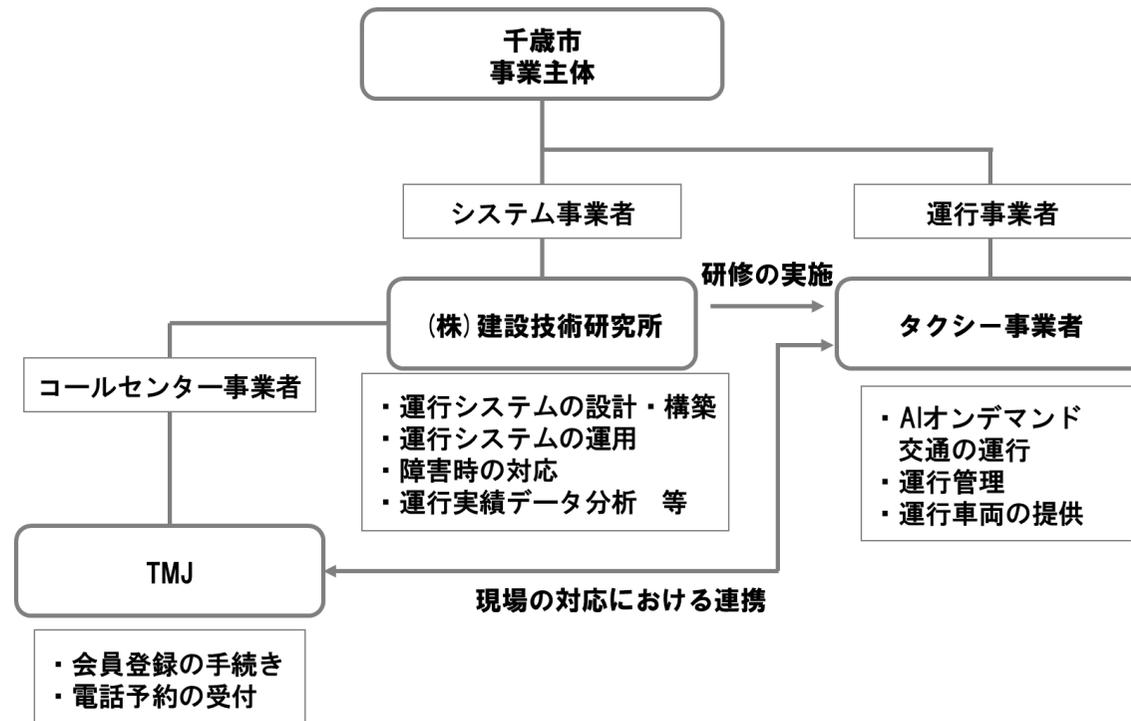
03 コールセンター事業者

株式会社TMJ(予定)
→コールセンターについては、建設技術研究所への
委託業務に含んでいることから、同社と連携のある
事業者が請け負う

04 運営事業者

未定(国庫補助金の交付決定後に入札を行い決定)

【実施体制図】



03 実施体制

【スケジュール表】

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
千歳市 (実施主体)	委託事業者との事前打合せ		実証運行			実績報告	
	道路運送法の申請準備		利用者アンケートの実施				
運行システム 委託事業者		住民説明会	実証運行・伴奏支援				
	システムの調整		実証運行・伴奏支援				
	コールセンターの構築		協賛企業への案内・受付				
運行委託事業者		事前研修	実証運行				

【実証実施に向けた主な調整内容】

01 システム事業者との調整

実証運行に向けて、調整を行う

03 住民説明会の調整・開催

実証概要、利用登録及び利用方法の説明

02 道路運送法上の申請

有償での運行となることから、運行事業者より、運輸局に申請を行う

04 地域企業への協賛案内

協賛金を受け付けるため、地域企業への案内を行う